

第155回国際研修
「刑事事件における効果的な証拠収集及び立証」

1 日程及び参加者

- 平成25年8月21日（水）～同年9月27日（金）まで
- 海外参加者10か国／地域17名
- 国内参加者7名

2 セミナー概要

従来、犯罪捜査においては、取調べを通じて、被疑者や事件関係者等から立証上有益な供述を獲得することに大きなウェイトが置かれてきた。しかし、この半世紀余りの間に、各法域において人権上の配慮を中心に、このような供述獲得を困難にする状況が数多く発生する一方で、新たな科学的知見・技術に基づく立証方法や供述獲得を促進する特殊な捜査手法が導入され、活用されるに至っている。

本研修は、このような世界的な潮流を踏まえ、困難な状況下においても取調べを通じて被疑者等から適正に供述を獲得する一方で、取調べに依存しない新たな捜査手法を活用し、効果的な立証を図るための知識・経験を各国刑事司法実務家の間で共有し、各国の刑事司法制度の向上・改善に資することを目的とする。さらに、本研修は、各国の刑事司法実務家が自国の制度及び実務改善のための情報交換を促進するための国際的なネットワークを構築することも目的としている。

3 客員専門家

本研修の一環として、当研修所教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う（敬称略）。

【客員専門家】

- ティモシー・カーティス ウェセックス・トレーニングコンサルタント会社部長／トレーニングコンサルタント
- ロバート・ストラング アメリカ合衆国司法省刑事局海外検察官育成・支援・訓練室 駐フィリピン リーガルアドバイザー

【外部講師】

- 井澤 清司 警察庁刑事局犯罪鑑識官付課長補佐
- 甘利 祐子 警察庁刑事局犯罪鑑識官付企画係長
- 田崎 仁一 警察大学校取調べ技術総合研究・研修センター 教授
- 児島 広昭 警察大学校取調べ技術総合研究・研修センター 助教授
- 岩楯 公晴 東京慈恵会医科大学法医学分野講座教授
- 神 洋明 光和総合法律事務所 弁護士
- 稲川 龍也 最高検察庁 総務部長

- シーラ・セイヤーズ 米国司法省連邦捜査局（F B I）法務官
- 杉浦 和彦 AOSリーガルテック株式会社シニアバイスプレジデント